

# ひと花新聞

第21号

2015年(平成27年)4月1日  
 発行: NPO法人釜ヶ崎支援機構  
 ひと花センター  
 〒557-0016  
 大阪市西成区花園北1-2-19  
 電話: 06-66649-7890

ひと花センターを地域にひろく  
**ひと花ゆめひろば**  
 4月18日(土)午前10時~午後2時  
 この日はなだもひと花センターに来ていただけます。

春!プロ野球開幕  
**阪神ファンの皆様へ**

## 梅だ!桜だ! 春が来た!

### じゃがいもの芽が出た!



三月二十日撮影。「種芋を植えたのが三週  
 間くらい前。芽が出てきて感動しました。  
 収穫を楽しみにしています。」(別府英雄)

**春の気まぐれ?**  
 私の息ホシサ 徳原  
 私はソロバンにハマってます  
 テレビソロバン教室の  
 宣伝をみてなせか、おまね  
 なつたしさがこみあげてきて  
 ソロバンの楽しさやうしよう  
 とはいはじめました  
 所カンパニを売つて、所  
 かなんか苦勞しました  
 なんかつコルムにありました  
 うれしかった、古い下か玉玉  
 のソロバンでした  
 箱かろばんまでソロバンの  
 んんしやうんはげんびます

阪神ファンの皆さん、今年こそは  
 優勝を願う(日本一)  
 甲子園八十周年記念という  
 記念の年もあります。ぜひとも  
 日本一を目指して、おめでとう  
 百せんしやうんを思っています  
 今年も今年こそ、そのチャンスで  
 すよ。全国という世界に日本  
 ので、野球の面白さかんぱん  
 もらうね、おぼろいせん  
 今年こそ、おぼろいせん  
 鳥谷以下、アトントン、おぼろいせん  
 加藤、おぼろいせん、おぼろいせん  
 優勝を願う、おぼろいせん、おぼろいせん  
 (A)

裏面に「タイガー」登場!

「ひと花」に参加して...  
 「ひと花」に通いだして二年、最初の頃とはメンバーもだいぶ替わっている。最近はおも、いろいろあつて以前ほど「ひと花」に顔を出して、ないが、自分の好きなワークシヨップには顔を出している。前より参加者が減っている。ようだが、それもあるけれど、じかたない、しかし新しい人が来られる事は嬉しい。去る人、来る人、人生、ごも。  
 何は、夫あれ出来るだけ長く「ひと花」センターも続いでほしい、と思っております。(H-1)



**健康と奉仕活動**  
 カズ池田  
 奉仕活動をするには健康な身体とボランティア精神が第一だと思っています。生活保護受給者の身となった今、血縁で生活して居る以上、地域に奉仕活動で恩返しをすることは、思いひと花のプログラムも奉仕活動が最優先で各奉仕団体を交流して役立ち老人に成れば、と思っております。  
 健康な体作りは、規則正しい食生活と自分に合った運動が必要。体を鍛えれば、正直に答えて、おぼろいせんは、五十一年位、脳卒中、病気を、色んな奉仕活動をして、身体が丈夫な、脳卒中、介護費も掛らず、血縁の無駄使、おぼろいせん、済みます。理屈、理論よりも、実行が、一番、今後、目に見える形での奉仕活動、最優先で、役立ち老人に成る、様、努力するつもりです。  
 世のため、町のために、恩返しに、がんばります。



箱妻のような獅子のような  
 イエミと同じ母の娘として生まれ  
 ながら、平凡は、青春を、送った  
 であらうその女は、若くして  
 大スターとなり、若くして結婚  
 生活を送る妹に、複雑な心  
 情を抱いて、いたの、おぼろいせん  
 イエミの、預金を、勝手に、引出し  
 イエミ、名義の、不動産を、勝手に、  
 売りに出した。それは、イエミに  
 対して、物質的な、損害にと  
 とも、あるが、イエミにと、つて、最大の  
 不幸は、その、女の、存在が、であった。  
 健康さん、藤子、おぼろいせん、おぼろいせん  
 信頼する、肉親の、言葉に、イエミ  
 の、心は、揺れた。そして、(つづく) (A)

【ひと花句会 三月】 ひと花に 集う人たち 運つよし (善人) 梅の花 弥生の空で さきほこる (二等賞) うすぐらい やよいのそらで ホウホケキョ (一等賞(竜神))



